

2008 年度事業報告

1. 2008 年度の特徴

■ NPO 界全体の動き

- ・ NPO 法施行から 10 年目を迎え、記念シンポジウムが数多く開かれた。
- ・ NPO 法改正について議論が進展。名称変更を含む改正案を国会に提出。
- ・ 旧公益法人制度が廃止され、新たな非営利法人制度がスタート。
- ・ CSR への関心が高まり社会的責任を推進する NPO/NGO ネットワークが発足。

■ コモンズの 10 大ニュース

- ・ 6 月に全国の支援センタースタッフが集う民ボラ大会がつくばで開催された。100 名近い参加で大成功。
- ・ 9 月に労働福祉会館へ事務所を移転。労働組合、労金、生協との関係が深まった。
- ・ 11 月にコモンズ 10 周年記念式典を実施。
- ・ 企業・労働福祉団体・NPO が協力して社会的責任を推進する【地域のパートナーシップを拓く SR ネット茨城】準備会が発足し 12 月にセミナーを実施。
- ・ NPO アシスタント講座の受講生チームが中心となり、初の NPO エキシビションとしてチェンジ！NPO を 400 名近い参加を得て 1 月に開催することができた。
- ・ 障がい者就労支援 NPO の情報交換会や商品力向上研修、共同即売会などネットワーク化をすすめることができた。
- ・ 県自治研修者や土浦市など自治体職員向けの協働研修を実施。
- ・ 地域で SR を進めるモデル事業として、常総市のブラジル人のこどもの教育問題を調査し、関係者が集って議論する場を設けることができた。
- ・ 3 年前より中央ろうきんと開設準備してきた「つくば市民大学」が 1 月にオープン。
- ・ 県内 NPO 法人の情報開示のための調査を実施しネットでの情報開示の準備をすすめた。



コモンズ 10 周年式典



CSR セミナー



チェンジ！NPO



外国人受入れで集会



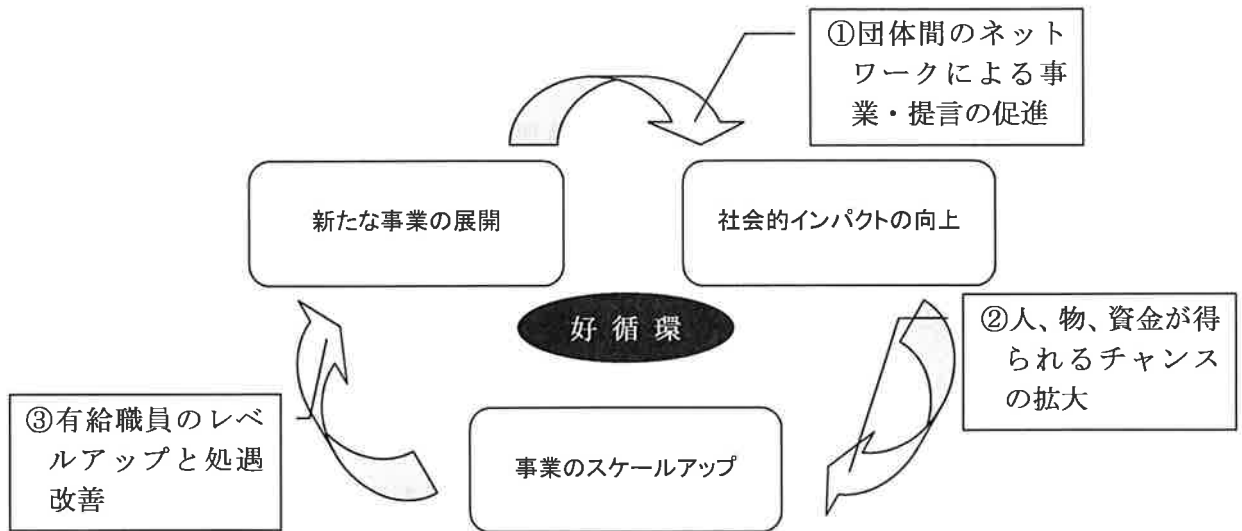
つくば市民大学が開校

2. 2008 年度の事業構想

コモンズは、NPO 全体の課題として次の悪循環からの脱却が必要と考えました
 体制が弱い ⇒ 事業展開・インパクトが弱い ⇒ 外部から資源が得られない



・ NPO を発展させるため 3 つのレバレッジ（槌入れ）ポイントで目標を立てました。



① 体間のネットワークによる事業・提言の促進

- ・ 同分野の NPO の情報交換会を行い、共同のインパクトのある事業を具体化する。
 （福祉作業所の仕事開発、多文化共生や温暖化対策など市民が関心をもつテーマで）
- ・ 公益法人と NPO 法人の接点をつくり、連携して行える事業を具体化する。
 （県内公益法人へのアンケート・ヒアリングの実施）
- ・ 国や県の個別施策に関して学習し、具体的提言や提案を行う場とメディアをつくる。
 （NPO 参画が重視されている障がい者自立支援、エコ農業、子育て支援など）

② 人、物、資金を交換するチャンスの拡大

- ・ 企業の機材、人材、場所、ノウハウを NPO に提供するサポート資源バンクの創設。
 （NPO に対して経済団体・労働組合等を通じて企業の協力を得られる仕組み）
- ・ NPO が外部に提供できるサービス、ノウハウ、人材リストを整備し、NPO と連携を希望する企業や行政、学校、宗教団体、自治組織、個人に紹介し、具体的な仲介も行う。

③ 有給職員のレベルアップと処遇改善

- ・ スタッフ同士が知り合い、実務能力と企画力を切磋琢磨し、協力し合える関係をつくる。
 （スタッフ合同研修（実務や企画の講座）、事業所訪問、共同広報キャンペーンなど）

- ・NPOアシスタントの養成・派遣により、事務処理能力のアップを支援する。
- ・各団体で職員の処遇改善やSRが実施されるよう情報共有し共に理事会に働きかける。

3. 2008 年度の事業リストと達成度

構想具体化のため、先の重点課題に協働推進とインフラづくりを加えた5つの運動分野と、調査、出版、研修、コーディネート、提言の5つの事業分野で事業を位置づけました。

下の表は、各項目で実施したいと考えた事業です。

	1. 調査	2 出版	3 研修	4 連携コー ディネート	5 提言	当面の成果 目標
A 活動資 源の開 拓と仲 介	A1	A2	A3	A4	A5	NPOサポ ート資源提 供システム NPO情報 開示システ ム
	ISO26000 の 動向把握と 企業の意向 調査	CSR ガイド を経済団 体と共同 で編集し 出版	企業・労働組 合等向け CSR 研修	企業との情報 交換の場づく り。NPO情 報登録と物 品など仲介	共同募金や 各助成団体 への提案	
B 人材 強化	B1	B2	B3	B4	B5	若手スタッ フの交流。シ ニアのNP Oアシスタ ント登録
	NPO会計 基準の動向 把握、モデル 規定の作成	テキスト (会議、会 計実務、 IT)	アシスタント 養成講座 実 務者向け講座 (会計・資金)	NPO道場 企画力向上、 資金調達 認 定NPO化)	NPO向け 提言(情報開 示・会計労 務・規定)	
C 団体間 の連帯	C1	C2	C3	C4	C5	福祉系NP Oの組織化。 NPOの県 民・各界への アピール
	県内の法人 の実態把握、 法改正動向 把握	10 周年記 念誌	経営者向け講 座(施設管理、 ガバナンス自 立支援法)	障がい関連団 体連絡会 NPOフォー ラム、交流会	障がい者就 労支援に関 して企業と 懇談	
D 協働の 推進	D1	D2	D3	D4	D5	協働といえ る委託、指定 管理へ行政 職員の協働 マインド向 上
	県内外の指 定管理者制 度の動向調 査	指定管理 NPO事 例集	行政向け協働 研修	協働可能性を 官民で協議す る場づくり	行政向けに 協働・指定管 理に関する 提言	
E イン フラ づく り	E1	E2	E3	E4	E5	NPO法改 正、地方税の 減免で NPOの意 向を反映さ せる
	新公益法人 制度と、既存 団体の意向 調査	法人選択 の手引き	新公益法人セ ミナー	法人化・公益 認定相談	地方税に関 する提言 NPO法改 正への提言	

2008 年度に一定の成果をあげた項目

部分的には成果をあげた項目

事業軸でみると、研修系とコーディネート系はまずまずの成果をあげることができました。調査では、ISO26000 や認定 NPO 制度、公益法人制度、多文化共生については情報収集ができましたが、指定管理者など個別団体の調査ができませんでした。提言に関する事業は NPO 法改正について団体アンケートを行い、名称を「市民活動法人」にすることについては意見が分かれました。出版など事業推進のためのマンパワーが不足した事業が推進できませんでした。

続いて、運動軸ごとに、達成状況を説明します。

運動 1. NPO と企業・労働福祉団体との仲介事業

★ 「地域のパートナーシップを拓く SR ネット茨城」準備会発足

～事務所引越しで労働界との縁が深まった～

中央労金とのつながりから労働福祉会館へ移転し、連合茨城や生協のパルシステムとの関係が深まり、経済団体や労働団体と NPO 支援組織のメンバーによる協働のためのプラットフォームをつくることができました。12 月に同ネット主催で開催した CSR セミナーは多くの企業、労働組合の関係者が参加しました。2 月に行った茨城 NPO フォーラムでも SR 時代の NPO と企業の連携を取り上げ、企業関係者に対する SR の浸透に努めました。具体的な企業・労組と NPO の連携仲介が今後の目標です。

★ 「団体情報開示のための県内 NPO 調査」進む

～情報開示は次年度持ち越し～

企業などが提携できる NPO を探しやすくするための NPO 情報開示のための調査を実施し 100 団体の回答を得ました。予定では 1 月にネット上で情報開示を始める予定でしたが次年度に持ち越しました。これは日本 NPO センターの団体データベースとの連動作業が遅れたためです。5 月には、日本 NPO センターとコモンズのホームページで団体情報開示が稼働する予定です。

※さらに、詳しい NPO の実態を把握する調査についても労働界の資金助成を得て実施することになりました。

★ 「企業の資源の NPO への提供」始まる

～情報開示のメリットが得られるようになります～

情報開示した NPO に企業の物品を仲介する試みをスタートし、5 団体に企業から寄贈された机、椅子、パーテーションなどを提供したほか、菓子メーカーの物品寄贈の仲介も行いました。

※日本 NPO センターでは、ソフトウェア寄贈プログラムを 2009 年度から実施します。これにより情報開示を行った NPO がメリットを得られる仕組みが本格化します。

運動 2. NPO の人づくり、運営力向上

★ NPO アシスタント講座

「そして奇跡は起こった」

従来の起業講座でも NPO 体験でもなく、具体的な支援活動の企画・実施を目的に開催しました。多様な経歴をもつ 7 名の受講生は、最初は敬遠していた障がい分野の NPO の課題と向き合い、商品の販売力 UP という目標を掲げ、今まで行えなかった

NPOの見本市（エキシビジョン）を企画し 1 月 31 日、結婚式場センチュリーNAKAにてチェンジ！NPOを実現させました。嵐の中、400 名近い来場者がありインパクトのある事業となりました。出展した 40 近いNPO関係者にとっては売上が増え、結婚式場との接点から接客を学べた上、楽しい交流の 1 日になりました。

★ NPO向けセミナーでは課題

大好きいばらき県民会議と共催したセミナーは県内 5 会場で計 20 回開催するものでしたが参加者が少なく、研修の対象設定や内容、広報の在り方に課題を残しました。企画力を高めるための道場、若手職員の交流会なども、推進体制がつくれず実現できませんでした。学びの機会を各NPOの参加を得てどうつくっていくかが課題です。

運動3 NPO間のネットワークづくり

★ 企業とNPOが提携できる状況をつくるためには、個々のNPOの事業力やプレゼン力の向上と同時に、1 対 1 でなく多対多で企業と関わる仕組みが有効です。そこで前年度から会計支援で関係のあった障がい者就労支援系NPOのネットワークづくりに取り組み情報交換会を行いました。

また、県外の視察も行い、NPOが協力してジョブコーチを養成派遣したり、企業から受注したノベルティグッズを作業所で分業してつくったり、共同で商品力向上に取り組んでいる事例を調べて紹介しました。実際に作業所の商品の魅力を高める研修も行い、前述のチェンジNPOで販売促進につながりました。

※ 多くの就労支援NPOが、工賃の向上や自立支援法の基準を満たす上で課題を抱えており今後も協力して力をつけていけるよう支援していく必要があります。

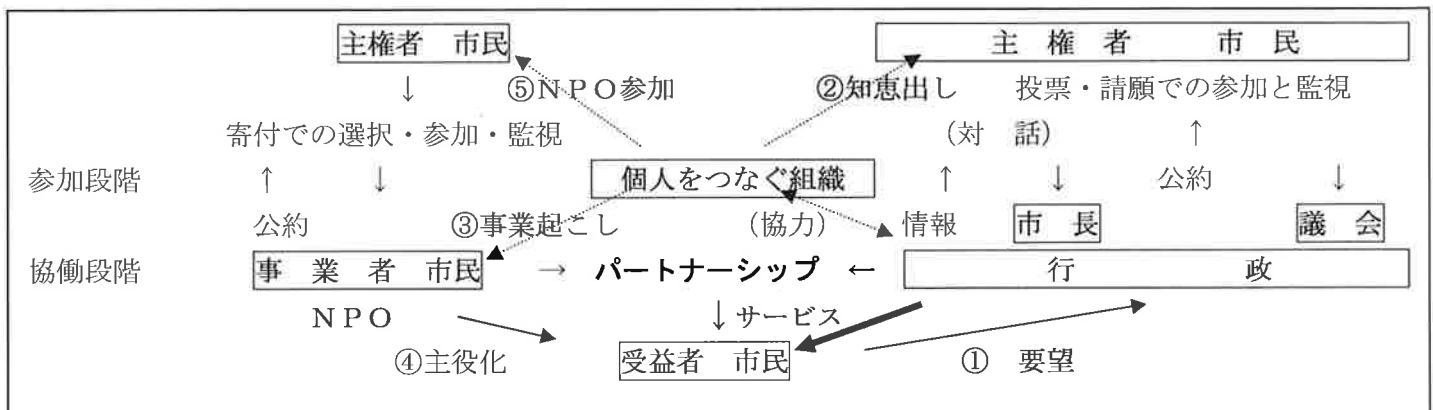
障がい者就労支援以外の分野でもNPOの横の連携を深めながら事業インパクトの向上や他セクターとの連携や提言活動を推進していく必要があります。

運動4 行政との協働推進

★ 水戸市や土浦市などいくつかの自治体で協働に取り組む動きがあり、取組の進め方についてアドバイスをしたり事業の提案を行いました。

行政職員向けの協働研修の依頼も相次ぎ、県の自治研修所、土浦市などで本来の協働とは何か、具体的にどんなことができるのかを伝える研修を行いました。

※ 協働と民間への業務委託を混同する傾向が広がるなかで、次のような協働推進のポイントを明確にして提案しました。



④NPOは同じ市民として関わることで、市民を単なるお客ではなく、問題の当事者（主役）に変えられる

⑤市民が当事者として「誰かがやる」から「自分のこと」としてNPOや行政への参加が進む

協働の地域づくり：主権者・事業者の市民を増やし、参加で知恵を生み出し、協働で事業を豊かにすること。行政の考えた仕事を安くNPOに委託するだけでは、②④⑤が増えず自治も事業の付加価値も高まらない。

※県内の自治体が協働を推進する場合に重視しているのが、自治会などコミュニティ組織の問題解決力や自治力の回復です。NPOと自治体だけでなく、NPOとコミュニティ組織の連携が茨城における協働推進のポイントであることがみえてきました。

運動5 活動のインフラづくり

★ 認定NPO法制度改正

全国レベルの連絡会の要望により認定要件が緩和されたため、パブリックサポートテストをどうすればクリアできるかセミナーや情報誌で紹介しました。寄付金等収入に正会員の会費を含められるようになり、1者あたりの寄付算入限度額も寄付収入額の5%から10%に広がったので、寄付収入が全収入の五分の一以上という基準をクリアしやすくなりました。認定の有効期間も2年から5年に延長されました。

※2009年度は、5年でなく2年の実績で審査を受けられるチャンスなので、コモンズ自体も認定に取り組み、認定NPO増加に取り組みます。

★ NPO法改正

NPO法 10年の節目で、法改正についても次の論点で議論が重ねられました。改正案の議論は次年度にもちこされました。

特定非営利活動促進法の改正に関する要望書

1. 法律の名称を「市民活動促進法」と改正
2. 認証に係る期間を2ヶ月に、かつ補正を可能にする。
3. 定款変更は原則届け出で
4. その他の事業への制約の緩和を
5. 書面または電磁的記録により総会の決議を省略できる「みなし総会決議」を可能に
6. 解散時の公告の回数を削減
7. 定款の記載事項の簡素化・明確化を
8. インターネットによる情報公開の強化とコピーを可能に
9. 情報公開における個人情報保護を
10. 代表理事制をとった場合には代表理事のみの登記もできるように、また監事についても登記をするように
11. 最新の法人情報を公開可能に
12. 認証後未登記団体の認証取り消し制度を策定
13. 法律の見解・運用基準を明確化

1 の名称変更に関しては、県内の NPO にもメールでアンケートを実施しました。その結果、「特定非営利は一般にはわかりにくい」「非営利は無償との誤解を招き易い」「市民団体以外入ってきて混乱している」など名称変更賛成意見と、「市民活動は範囲が狭い印象を与える」「書類を変えなくてはならないのは面倒」「せっかく定着してきたのにもったいない」など反対意見が寄せられました。これらの声は税法人制度改革連絡会を通じて国会に届けられました。

★新公益法人制度

新公益法人制度と認定 NPO 制度のどちらが有利か、市民団体にとって公益認定のハードルはどれくらいか研究しました。公益社団法人は本来事業であれば法人税の収益事業課税がない点と寄付優遇の対象になる点が魅力ですが、そもそも黒字にできないほか、認定要件を満たせなくなったときに財産を残せなくなるなどリスクもあります。一般社団法人は、所轄庁の認証が不要で NPO 法人よりも短期間で設立できる（設立費用は NPO 法人よりもかかる）が、会社に近い位置づけとなりどの程度の信用が得られるか未知数。というのが制度スタート時点に整理したものです。しばらく運用状況を見る必要があります。

	一般社団法人	NPO 法人	公益社団法人	認定 NPO 法人
要件と手続き	正会員 2 名以上 公証人の認証後 登記	正会員 10 名以上 所轄庁が公益性等 を審査認証後、登記	県が設置する第三 者機関がガイドラ インに基づき認定	国税庁がパブリッ クサポートテスト などで認定
運営	活動分野制限なし 共益的活動も可能	主に 17 分野で対象 が不特定なら活動 自由	公益事業が 5 割以上 運営ルールが細かい	本来事業に 8 割以上 支出
寄付控除	なし	なし	あり	あり
法人税等の課税	全収入課税 ※非営利タイプは 34 業種のみ課税	34 業種のみ課税	公益事業は 34 業種 でも非課税 利子等も非課税	34 業種は課税対象 だが、利益の 20% まで は非課税。

★ NPO 会計基準

これまで NPO 法人の会計基準が存在しないことにより、団体により決算書の作り方がバラバラで団体間の比較ができない、内容が不十分な決算書が少なくないなどの問題が指摘されていきました。年度末の 3 月になって NPO 支援センターと会計専門家による会計基準策定のための協議会が設置され 1 年かけて基準作りを行うことになりました。

※コモンズも協議会に参加し現場に即した会計基準づくりに取り組みます。

★ 所轄庁の体制強化も課題

茨城県（所轄庁）は、認証監督の独自の基準を設け運用を行うと発表しました。公益性や非営利性を判断する際に次のような基準を用いるというものです。

- ・事業費が管理費を上回っていること
- ・特定非営利活動の割合がその他の事業を上回ること（頻度・人数、金額全てで）
- ・その他の事業が黒字であること

同様の基準が2年前に県のNPO懇談会で検討されたときにコモンズの委員は基準を満たせていないNPOが定款や事業の変更を求められる可能性もあり、NPO法が求めている要件の導入には反対し、導入が見送られた経緯があります。法で定められた事業報告を出さない法人やNPO法の趣旨を十分理解しないで設立申請する団体があるのも事実ですが、基準導入がNPOの質と量にどう影響するか検証が必要です。今回の上乘せ基準により問題が生じる団体がないか調べ、今後の本県における法の運用について所轄庁と協議する必要があります。また、所轄庁の担当職員の増員も課題となっています。

4. 会務に関する報告

(1) 定時総会

日 時：2008年5月18日（土）14：20～15：40

会 場：茨城県総合福祉会館多目的ホール

出席者：105名（当日出席27名）

【協議事項】

- 第1号議案 「2007年度事業報告の承認を求める件」
- 第2号議案 「2007年度決算報告に承認を求める件」
- 第3号議案 「2008年度事業計画審議と承認を求める件」
- 第4号議案 「2008年度予算審議と承認を求める件」
- 第5号議案 「役員改選案に承認を求める件」
- 第6号議案 「定款の改定」

当日は総会に前に講演会を行った。

特別講演会 13：00～14：00

「「今後の日本の市民活動と中間支援組織の役割
～日本のNPOこれまでの10年これからの10年～」

講師 槇 ひさ恵さん

(2) 理事会

第1回

日 時：2008年4月13日（土） 10：00～12：00

会 場：つくば市市民活動センター

出席者：7名

【審議事項】

1. 総会までのスケジュールについて（事務局）
2. 2007年度事業報告・決算案、2008年度事業計画・予算案について
3. 「とらい事業」に関する資産・負債の移行手続きについて

4. 出版事業について
5. 公益法人対応事業について
6. 会員間の交流・協働促進事業について
7. 企業とのマッチング事業について
8. 財政健全化・組織ガバナンス強化事業について
9. 内部規程の制定について
10. 水戸事務所の労働福祉会館への移転構想について

第2回

日 時 : 2008年4月22日
会 場 : 水戸市福祉ボランティア会館
出席者 : 5名
【審議事項】総会議案について

第3回

日 時 : 2008年5月11日(日) 10:30~12:30
会 場 : メソードつくばコミュニティルーム
出席者 : 7名
【審議事項】
1. 総会議案の確認について
2. 内閣府「地方の元気再生事業」への応募申請について
3. 総会当日の役割分担について
4. 10周年イベントの日程について
5. 民ボラの開催について
6. チャリティプラットフォーム、およびNPO塾との関わりについて

第4回

日 時 : 2008年7月12日(土) 10:00~12:00
会 場 : 交流サロニーいばらき
出席者 : 9名
【審議事項】
1. プロジェクトの再編について
2. 年間スケジュールについて
3. 内部規程の制定について
4. 水戸事務所の労働福祉会館への移転について

第5回

日 時 : 2008年8月10日(月) 10:00~12:00
会 場 : つくば市市民活動センター
出席者 : 9名
【審議事項】

1. 10 周年イベントと会員交流企画について
2. 障がい者支援部会（仮称）の設置について
3. 記念読本の作成について
4. 会員拡大の進め方について

第6回

日 時 : 2008年9月14日（日） 10:00～12:00
会 場 : 茨城県労働福祉会館
出席者 : 9名

【審議事項】

1. 10 周年イベントと会員交流企画について
2. 記念読本の作成について

第7回

日 時 : 2008年10月12日（日） 10:00～12:00
会 場 : つくば市市民活動センター
出席者 : 11名

【審議事項】

1. 10 周年イベントと会員交流企画について
2. 記念読本の作成について
3. 会員拡大の進め方について

第8回

日 時 : 2008 年11月1日（日） 10:00～12:00
会 場 : 交流サローンいばらき
出席者 : 7名

【審議事項】

1. 10 周年イベントと会員交流企画について
2. 会員拡大の進め方について

第9回

日 時 : 2008 年12 月14 日（日） 10:00～12:00
会 場 : つくば市市民活動センター
出席者 : 8名

【審議事項】

1. 当面の資金繰りとコモンズ債の償還について
2. NPO展示会 チェンジNPO（1月31日）の運営について
3. 労働界との協働によるNPO基礎調査の運営について
4. NPO運営セミナーについて
5. 10 周年記念本の構成と執筆分担について

第10回

日 時 : 2009年1月11日(日) 10:00~12:00

会 場 : 交流サルーンいばらき

出席者 : 7名

【審議事項】

1. 財政再建計画について
2. 会員や外部への協力依頼の分担と年度内の資金繰り対応について
3. NPO展示会(1/31)とフォーラム(2/17)、運営セミナーの運営と勧誘
4. 10周年記念本の構成と執筆分担について
5. 次年度の新規委託事業について
6. 緊急雇用対策やSRネットに関連して行う新規事業の案について
7. 労働界との協働によるNPO基礎調査の運営について

第11回

日 時 : 2009年2月8日(日) 10:00~12:00

会 場 : つくば市民活動センター

出席者 : 6名

【審議事項】

1. 財政再建計画について
2. 次年度事業計画について
3. フォーラム(2/17)、運営セミナーの運営と参加者勧誘
4. 10周年記念本の構成と執筆分担について

理事合宿

日 時 : 2009年2月21日~22日

会 場 : セミナーハウス常総

参加者 : 6名

1. 今年度の成果と課題の共有
2. 他地域・行政の課題共有
3. 組織の課題だし
4. 事業改革について
5. 組織改革に関して

茨城NPOセンター・コモンズ

2008年度活動実績

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数	支出 額
5 条 1 項 情報 提供	茨城NPO フォーラム 2009 共催団体 茨城県経営者協会 茨城新聞社 大好きいばらき 県 民会議	テーマ 「SR 時代のNPO企業の連携」 ● 基調講演 ダイバーシティ研究所 田村太郎 ● 分科会 テーマ1 発想を変えればできる 大里総合管理 野老 真理子 エイエスピー 中島晃士郎 テーマ2 NPOと企業・商店街の連 携 日本ハム 高島 永幸 リヴォルヴ学校教育研究所 小野村 哲 スポーツ健康支援センター 古徳 洋一 テーマ3 地域安全と新たな情報発信 PCY298 関田 巖 ラヂオつくば 増田 和順	2 月 17 日 (火)	カスミ つくばセンター	85 名	67
	取手市市民活動セン ター 講座企画運営	① ボランティアとは ② 県内のNPO ③ 法人化とは ④ 持続可能な組織運営 ⑤ ファンドレイズと広報 ⑥ 人材確保・労務管理 講師 横田能洋	11 月 5 日 11 月 12 日 11 月 18 日 11 月 27 日 12 月 3 日 12 月 10 日	取手市福祉交流 センター	延 べ 150 人	27 の うち
	つくばみらい市 社会福祉協議会講座 企画運営	団塊の世代向けの地域活動入門講 座を 5 回シリーズで実施 前半は、ボランティア、NPO、社 会的起業を学び、後半は、地元で できる活動を立案した。 講師 横田能洋	1 月 9 日 1 月 23 日 2 月 24 日 3 月 3 日 3 月 13 日	つくばみらい市 福祉センター	延 べ 50 人	27 の うち
	土浦市 協働に関する研修事	まちづくり市民委員会の専門部長 会議で、協働について 2 度にわた	9 月 20 日	土浦市役所	延 べ 120	27 の うち

茨城NPOセンター・コモンズ

2008年度活動実績

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数	支出 額
	業	り講演、グループワークを実施。 講師 横田 能洋	2月21日		名	
5条 1項	NPO運営 セミナー	新公益法人と認定NPO法人制度 講師：シーズ市民活動を支える制度を 作る会 松原 明 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 江崎 礼子	10月9日 (木)	県南生涯学習 センター	25名	499 の う ち
情報 提供	共催団体 大好きいばらき 県 民会議	団体の信頼度アップと活動資金確保 講師：えひめNPOセンター 菊池修	10月30日 (木)	県北生涯学習 センター	13名	
		公益社団法人と認定NPO 講師：NPOサポートセンター 富永さとる	11月1日 (土)	県庁三の丸庁舎	14名	
		NPOとファンドレイジング 講師：ファンドレックス 鶴尾雅隆	11月20日 (木)	鹿嶋まちづくり 市民センター	11名	
		協働と指定管理 講師：ハンズオン埼玉 西川 正	11月21日 (金)	筑西市民会館	11名	
		情報を制して活動力UP 講師：茨城新聞社 菊地克幸 エデュケーションデザインラボ 平塚知真子	1月29日 (木)	鹿嶋市まちづく り市民センター	8名	
		助成金の企画書の作り方 講師：茨城の暮らしと景観を考える会 三上靖彦	2月13日 (金)	県庁三の丸庁舎	9名	
		企業・商工会とどう連携するか 講師：県商工会連合会 藤本隆幸	2月27日 (金)	筑西市民会館	8名	
		会議を変えて、組織を変える！ 講師：日本ファシリテーション協会 徳田太郎	2月6日 (金)	県南生涯学習 センター	8名	
		ボランティアと協働する組織づくり 講師：コモンズ理事 安久正倫	3月6日 (金)	県北生涯学習 センター	5名	
		NPO基礎1： NPO法人化を理解する	12月2日～ 1月14日ま	鹿嶋まちづくり 市民センター他	延べ 43名	

茨城NPOセンター・コモンズ

2008年度活動実績

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数	支出 額
5 条 1 項 情報 提供		講師：横田能洋	で県内 5 地 区実施			
		NPO基礎2： 申請書や事業計画書の作成 講師：横田能洋	12 月 4 日～ 1 月 17 日ま で県内 5 地 区で実施	県庁三の丸庁舎 他	延 40 名	
5 条 1 項 情報 提供	講師派遣	筑波学院大学 市民活動について 茨城県筑西保健所 青年支援活動 県体協研修 (方喰) 日本青年奉仕協会青年支援者研修 茨城県自治研修所 協働研修 笠間市 協働研修 土浦市 自治体職員向け協働研修 阿見町 放射性廃棄物処理を考えるワークシ ョップでのファシリテート 赤十字茨城県本部 (徳田理事) 日本NPOセンター 行政との対話フォーラム	4 月 28 日 8 月 1 日 11 月 29 日 12 月 6 日 1 月 15 日 2 月 10 日 1 月 30 日 12 月 23 日 2 月 1 日 2 月 7 日 2 月 25 日	筑波学院大学 県西生涯学習セ ンター 歴史館 県青少年会館 市町村会館 笠間市役所 土浦市役所 町民活動センタ ー 水戸プリンスホ テル 赤十字社茨城県 本部神奈川県民 活動センター	60 名 50 名 60 名 20 名 70 名 30 名 100 名 6 名 60 名 75 名 80 名	28
	新公益法人制度セミ ナー	新公益法人制度について 講師：県総務課 鈴木賢嗣	10 月 27 日 (月)	県庁三の丸庁舎	12 名	499 の う ち
5 条 2 項 調査 研究	行政NPO施策調査	民主党による 21 年度NPO関連予算 説明会で情報収集し一覧を作成	1 月 26 日	東京		56 の うち
	障害者就労支援NP Oのネットワーク組 織について	浜松ネットワークセンター (ジョブコーチ養成派遣事業) 奈良の就労支援センター トギャザー (大阪) 作業所の共同	10 月 16 日 ～17 日	浜松市、奈良市、 大阪市		56 の うち

茨城NPOセンター・コモンズ

2008年度活動実績

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数	支出 額
	新公益法人制度について	県担当課へのヒアリング、文献調査、税法人制度改革連絡会などで情報収集し、NPO法人との違いや設立ポイントを学び、公益法人に関する相談対応について習得した。	年間通じて			56 のうち
	NPO法改正	NPO法人の名称変更についてアンケート調査を実施、連絡会へ結果を報告した				56 のうち
5 条 2 項 調査 研究	多文化共生について	常総市の日系ブラジル人と児童の状況について、行政、学校、企業の対応状況を調査。外国人児童の教育問題について文献調査	年間を通じて			56 のうち
	自治体向け協働研修プログラム	市民、行政職員向けの協働に関する研修方法について文献調査を行い、研修資料を作成し、県、土浦市、笠間市などで実行した。	9 月より			56 のうち
	共同募金改革や資金提供システムに関する研究	厚生労働省と県共募の改革に関する会議に参加し、募金や広報の方法や助成金の使途などについて提案を行い調査に協力した。他県のNPOの情報開示と資源仲介のシステムについても調査した。	7 月より			56 のうち
	県内NPO実態調査	県認証の全NPO法人に詳細な実態調査を実施した。100 団体回答情報提供システム構築を進めた。	10 月より			56 のうち
	情報誌発行	4 月と 10 月、12 月に情報誌を発行。認定NPOなど制度変更情報を提供した。	年 3 回			56 のうち
	書籍販売	「会議を変える」と「NPOのキャパシティビルディング」を出版販売	年間通じて			307
	原稿執筆	茨城経協ニュース 茨城新聞社月刊あいちゃっと	年間通じて 〃			

茨城NPOセンター・コモンズ

2008年度活動実績

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数	支出 額
		環境パートナーシッププラザ	3月			
5条 3項 活動 支援	法人設立に関する相談	行政書士と協力し法人設立相談に応じた。市民農園に関する相談や一般社団法人に関する相談が増えたのが特徴。つくば市市民活動センターでの活動相談も定期的に実施	年間通じて			
	法人運営や会計などに関する個別相談	主に障害者支援NPO団体の会計ソフト導入や簿記の指導、税務署への申告の必要性の可否などについて個別相談に応じた。	年間を通じて			
5条 3項 活動 支援	決算書&年度報告書の作成講座	講師：高谷 豊 横田 能洋	4月15日 (火)	県南生涯学習センター	8名	1199 のうち
	情報開示と資源提供システム構築	NPO情報をインターネット上で検索できるシステムを日本NPOセンターと共同で設けるための準備作業を行った。 企業より提供を受けた机、パーテーションなどの機材を希望するNPOに提供した。	10月～			1199 のうち
	SRネット茨城の設立準備	企業、労働団体、経済団体、NPOなど組織の社会的責任や地域貢献についてのネットワークをつくるため準備会を開催した。	8月18日 9月12日 10月10日 11月19日	経協会議室他	延 47 名	
	SRネット茨城公開セミナー	「CSR時代の社会貢献」 講師：日本経団連 長沢恵美子 中央ろうきん 山口郁子	12月8日 (月)	産業会館研修室	71名	
	誰もが安心して暮らせる地域づくりを考える集い 県の人権対策推進	基調講演「人口減少に対応した日本の 経済社会のあり方」 講師：日本経団連 井上 洋 報告 茨城県国際交流協会	3月23日 (月)	水海道シティハイツ集会場	40名	1199 のうち

茨城NPOセンター・コモンズ

2008年度活動実績

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数	支出 額
	事業として実施	岩本 郁子 常総市教育委員会 佐藤 明彦 水海道国際交流友の会 荒井 文枝 ブラジル人児童の教育問題を中心に 地域で何ができるか話し合い、多文化 共生の推進組織立ち上げを提案した。				
	障がい者支援NPO のネットワークづくり	第1回情報交換会 ワークスたんぽぽ、らしん盤の事例報 告とグループ討議	10月15日 (水)	赤塚ミオス	25名	1199 のう ち
	県の人権対策推進 事業として実施	第2回情報交換会 作業所のパン・クッキーの商品向上と 広報について 講師：吉田理映子	12月18日 (木)	センチュリープ ラザNAKA	18名	1199 のう ち
5条 3項	NPOアシスタント 養成講座 (中央ろうきん助成 事業)	NPOに興味がある人を対象に、現場 を知り、自らのスキルを役立てるアシ スト活動を企画実行する新たな人材 育成事業を行った。 障害者支援NPOにおける売上と工 賃の向上という課題にできるか考え、 商品見本市の開催を企画。 講座で出た企画を実践するため、受講 生による TeamK7 を結成。結婚式場で NPOエキシビジョンを開催する計 画を立案し、出展団体募集と調整、来 客募集のチラシ作成、プレス対応など を実践した。	10月7日 (火)～11月 19日(月) まで延10日 間開催 11月25日 (火) ～1月30日 (金)まで	労働福祉会館他	7名	1199 のう ち
	茨城NPOエキシビ ジョン「チェンジN PO」	茨城のNPOが一堂に会し「明るく、 豊かに、元気に、そしてチェンジする」 ことを目的に開催 40 団体が、物販やステージ企画など で参加出展を行った。	1月31日 (土)	センチュリープ ラザNAKA	330 名	1199 のう ち
	つくば市民大学への	労金つくばビル 5 階フロアで市民大	年間通じて	ろうきんつくば		

茨城NPOセンター・コモンズ

2008年度活動実績

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数	支出 額
	協力 中央労金との協働事業	学事業を実施するため市民組織ユニベルシタスつくばを設立。大学の運営に関するルール、事業内容に関する会議にスタッフを派遣。1月にスペース改装を終えオープン。オープニングのイベント開催にも協力した。		ビル		1199 の う ち
	自治体の協働施策への協力	●土浦市などの協働推進事業の企画についてコンサルテーションを実施 ●水戸市の協働指針策定の会議に委員を派遣	年間通じて			
	助成プログラムの運営に協力	●パルシステム茨城の助成プログラム運営会議に委員を派遣 ●中央労金の助成プログラムの選考委員会に委員派遣	年間通じて			

茨城NPOセンター・コモンズ

2008年度活動実績

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数	支出 額
5条 3項 活動 支援	第26回民間ボランティア・市民活動推進者規格戦略会議（民ボラ）への協力	●オープニング「NPOを問う」 常磐大学 吉永 宏 大阪ボランティア協会早瀬 昇 ●分科会A：地縁組織とNPOの協働と中間支援組織の役割 分科会B：公設民営センターを元にする方法 分科会C：田舎を手入れする、田舎と付き合う中間支援団体の広域連携 分科会D：協働とソーシャルビジネスを捉え直し事業戦略をつくる 分科会E：若者とボランティアⅠ 分科会F：若者とボランティアⅡそして中間支援機関の果たす役割は何 分科会G：「組織の社会的責任規格（ISO26000）」は、今後の企業・NPO・地域社会にどうかかわる？ 特別講演「梅に託された水戸の心」 講師：植草学園短期大学 但野正弘	6月7日～8日	つくば学院大学	100名	
	茨城福祉移動サービス団体連絡会の事務局運営	●茨移連移動を考えるフォーラム 安心して暮らせる社会づくりのため移動サービスの現状を討議した	2月5日（木）	赤塚ミオス	85名	
		●新任運転協力者向け講習会	1月25日他 合計3回延 6日間開催	笠間市社協友部 社会福祉会館他	延べ 188 名	
		●茨移連総会&研修会 茨移連総会に合わせ移動サービスに関する研修会を実施	6月11日（水）	赤塚ミオス	50名	
5条	職業訓練インターン	LEC水戸校より訓練生を1名受入	11月6日	コモンズ事務所	1名	

茨城NPOセンター・コモンズ

2008年度活動実績

定款 事業 区分	事業名	事業内容	実施日	場所	参加 人数	支出 額
4 項	生受入れ	れ、法人資料作成などの業務を体験していただいた	(木)から 11 月 27 日 (木)			
5 条 4 項 その他	各種ネットワークへの委員派遣	●茨城県防災ボランティアネットワークのNPO代表として参加 ●NPO法税制度改革連絡会 ●社会的責任に関するNPO・NGO ネットワーク ●県社会福祉協議会 評議委員 研究冊子編集委員 ●県共同募金会 評議委員 あり方検討委員 ●水戸商工会議所	年間通じて			
	水戸ケアマネージャー研究会	同会の会議資料の印刷・発送業務を実施。	年間通じて			17
	とらいでトーク	会員交流の企画として活動実践者を囲み会食を行った。 ゲスト 綿引 浩之	8 月 20 日 (水)	とらい	9 名	80 の うち
	コモンズ 10 周年記念式典	NPOの10年を振り返り、田尻佳史、田尻英美子、横田能洋の3人でトークを実施、その後交流会を行った。記念品としてDVDを作成配布した。	11 月 15 日 (土)	赤塚ミオス	48 名	80 の うち
	コモンズ総会	定期総会と講演会 講演 今後の市民活動と中間支援 講師：槇 ひさえ	5 月 18 日 (日)	茨城県総合福祉会館	28 名	80 の うち
	事務所移転	斎藤ゼミの学生 19 名ほかボランティア 6 名の協力で五軒町から梅香の労働福祉会館へ転居	9 月 3 日 (水)	コモンズ		
	理事会	定例理事会を第二日曜に実施。	11 回開催	つくば市民活動センター他		
	理事合宿	長期ビジョンについて協議した	2 月 21 日 (土)～22 日 (日)	セミナーハウス 常総	6 名	

コモンズ会員内訳

	2008年総会時点	2009年総会時点
個人正会員	113	91
個人賛助会員	22	14
個人購読会員	16	13
団体正会員	69	66
団体賛助会員	8	11
団体購読会員	2	2
	230	197

2008年度ボランティア活動記録

月	活動時間	延人員		
4	34.0	4	10周年記念イベント受付	パソコン教室
5	59.0	16	茨移連事務局	発送作業
6	40.0	4	茨移連事務処理	引越し
7	12.0	3	事務所作業	引越し荷物整理
8	14.0	2	事務所作業(会計)	民ボラ大会事務局
9	165.0	27	事務所留守番	民ボラ大会準備
10	29.0	4	新聞切抜き	ホームページ作成
11	31.0	4	総会議案書発送	
12	32.0	3	総会議事録発送準備	
1	141.0	15	総会資料作成	
2	30.0	6	総会対応	
3	37.0	4	チェンジNPOスタッフ	
計	624.0	92		

ボランティアの皆さん(順不同、敬称略)

朝川 君代	口町 早百合	服部 点子	大貫 純以
安久 正倫	小泉 毅	服部 敏明	塚田 竜一
磯畑 聡	佐々木 俊明	廣木 よし江	他茨城大学斎藤ゼミの
岩崎 紀子	清水 悦子	藤枝 玲子	学生さん(引越し) 19名
江崎 玲子	高橋 宏	干場 めぐみ	
江塚 晶子	瀧 喜久男	安 ひで子	
江幡 順子	瀧 洋子	横田 充洋	
大胡田 友	谷口 考悦	吉田 忠夫	
兼子 千恵子	塚本 満昭	吉本 祐之	
菅野 好忠	沼田 幸江	小田 聖子	

以上 41名

ありがとうございました

寄付者名簿(順不同・敬称略)

助成金

茨城新聞社文化福祉財団

労働金庫協会

財団法人 茨城県労働福祉基金協会

寄 付

CRB工業有限会社 広木 利文

NPO法人 取手市手をつなぐ育成会

NPO法人 あすなろ会

NPO法人 ウィラブ北茨城

NPO法人 生活支援ネットワーク こもれば

NPO法人 ドリームたんぼぼ

NPO法人 ニューライフカシマ21

NPO法人 福祉の会 ねこのて

NPO法人 ふじしろ福祉の会

NPO法人 まちづくり市民会議

NPO法人 育泳会

NPO法人 笠間学童保育の会

NPO法人 結城まちづくり研究会

NPO法人 古河市障害児者支援の会希望

NPO法人 並木会

こすもすくーる 加藤嘉一

ジョイスター(株)

たまり場たろう 小松崎登美子

リリー文化学園 大久保博之

茨城県経営者協会

森木行政書士事務所

生活共同組合パルシステム茨城

赤塚みなみ保育園

仮屋茂

井口百合香

岩田勝美

吉澤昇

橋本てるみ

桐原元

西宮能信

塩原慶子

西村ミチエ

水野恵美子

江幡順子

江本里子

佐々木俊明

山崎幸一

小泉力夫

小野沢秀人

松本治郎

松本博充

神山直規

菅谷茂佐久

石橋丈夫

帯刀治

中島知明

朝川君代

藤沼良夫

藤本隆幸

徳田太郎

綿引浩之

木村福一

木村隆幸

柳橋剛

齋藤典生

齋藤義則

方喰英幸

横田能洋

匿名 2名

以上60団体・個人 2,584,609円

ありがとうございました。

2008年度 財産目録

2009年3月31日現在

茨城NPOセンター・コモンズ

(単位:円)

科 目	摘 要	金 額		
資産の部				
流動資産				
現金		5,354		
普通預金		230,732		
郵便振替口座		121,602		
商品	販売用書籍在庫	612,690		
未収金	行政委託費など	122,812		
流動資産合計			1,093,190	
固定資産				
什器備品	パソコン、プリンターなど	441,322		
固定資産合計			441,322	
資産合計				1,534,512
負債の部				
流動負債				
未払金	職員給与など	304,290		
前受金	会費など	46,000		
源泉所得税(給与)		11,490		
その他	職員社会保険料	24,740		
短期借入金		4,561,698		
未払費用	消耗品、講師謝礼など	233,310		
流動負債合計			5,181,528	
固定負債				
長期借入金		3,025,000		
固定負債合計			3,025,000	
負債合計				8,206,528
正味財産合計				-6,672,016

上記は、2008年度財産目録の謄本に相違ないことを証明します。

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ

水戸市梅香2丁目1番39号 茨城県労働福祉会館2階

理事 斎藤 義則

2008年度 貸借対照表

2009年3月31日現在

茨城NPOセンター・commons

単位 (円)

科目	金額		科目	金額	
I 資産の部			II 負債の部		
1. 流動資産			1. 流動負債		
現金	5,354		前受金	46,000	
普通預金	230,732		預り金	36,230	
郵便振替口座	121,602		未払い金	304,290	
商品	612,690		短期借入金	4,561,698	
未収金	122,812		未払費用	233,310	
流動資産合計		1,093,190	流動負債合計		5,181,528
2. 固定資産			2. 固定負債		
建物			長期借入金	3,025,000	
車両運搬具					
什器備品	441,322		固定負債合計		3,025,000
敷金					
固定資産合計		441,322	負債合計		8,206,528
			III 正味財産の部		
			前期繰越正味財産	-5,380,732	
			当期正味財産増加額	-1,291,284	
			正味財産合計		-6,672,016
資産合計		1,534,512	負債及び正味財産合計		1,534,512

2008年度 決算(予算対比)

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ

(単位:円)

科 目	2008年度予算	決算	差額	備 考
I 経常収入の部				
1 会費	1,700,000	1,283,000	-417,000	
2 寄付収入	1,500,000	2,584,609	1,084,609	
3 事業収入	7,350,000	5,531,447	-1,818,553	
(1) 情報収集提供事業	5,300,000	2,283,333	-3,016,667	
①フォーラム	400,000	116,500	-283,500	参加者伸びず協賛も得られず
②出版	2,100,000	136,582	-1,963,418	出版物が計画通りに作成できず
③講師派遣・自主講座	1,400,000	515,251	-884,749	自主講座を開催できず
④受託研修	1,400,000	1,515,000	115,000	県、阿見、取手市の研修
(2) 調査研究事業	0	50,000	50,000	団体調査への経協の負担金
(3) NPO支援事業	1,900,000	2,927,970	1,027,970	人権啓発、アシスタント、チェンジNPO チケット、茨移連、民ボラ、相談
(4) その他の事業	150,000	270,144	120,144	
①交流会参加収入	150,000	162,000	12,000	10周年式典
②作業請負		108,144		水戸ケアマネ研
4 助成金収入	1,000,000	600,000	-400,000	労福協基金 茨城新聞社
5 雑収入		878	878	
当期収入合計	11,550,000	9,999,934	-1,550,066	
II 経常支出の部			0	
1 事業費			0	
(1) 情報収集提供事業	2,210,000	901,055	-1,308,945	
①フォーラム	200,000	67,048	-132,952	懇親会経費など
②出版	640,000	307,070	-332,930	CGP報告印刷費、委託販売仕入
③講師派遣・自主講座	920,000	27,980	-892,020	旅費の一部
④受託研修	450,000	498,957	48,957	運営セミナー外部講師謝礼など
(2) 調査研究事業	100,000	56,267	-43,733	図書代、東京出張の一部
(3) NPO支援事業	190,000	1,199,171	1,009,171	
(4) その他の事業	150,000	97,380	-52,620	
①交流事業費	150,000	80,420	-69,580	交流行事
②作業請負		16,960	16,960	
事業支出合計	2,650,000	2,253,873	-396,127	
2 管理費				
給料手当	3,400,000	2,630,000	-770,000	
法定福利費	340,000	297,156	-42,844	
福利厚生費	12,000	5,498	-6,502	
会議費	20,000	40,080	20,080	总会交流会 打ち合わせ弁当代
交際費	10,000	63,653	53,653	10周年食事代花代
旅費交通費	500,000	1,019,188	519,188	事務局77万 理事会23万
発送配達費	160,000	156,530	-3,470	
電話代	210,000	173,831	-36,169	
郵送料	8,000	100,120	92,120	式典案内や報告送料
インターネット接続費用	50,000	45,350	-4,650	
消耗品費	100,000	269,223	169,223	封筒文具 トナー
修繕費	10,000	50,000	40,000	旧事務所退出時の敷金減少分
新聞図書費	40,000	54,260	14,260	
研修費	20,000	2,000	-18,000	
車両費	120,000		-120,000	旅費に合算
水道光熱費	120,000	131,643	11,643	
支払地代家賃	830,000	806,000	-24,000	
リース料	350,000	500,325	150,325	事務機器リース 消耗品含む
印刷製本費	150,000	177,325	27,325	コピー機使用料
賃借料	100,000	176,836	76,836	駐車場
保険料	30,000	26,117	-3,883	
諸会費	20,000	102,000	82,000	各地の支援センター会費
支払報酬	90,000	129,722	39,722	总会講演会講師と通訳 税理士
支払手数料	10,000	12,400	2,400	
租税公課	300,000	309,775	9,775	消費税、法人住民税
雑費	0	1,499	1,499	
寄付金支出		164,000	164,000	とらいに敷金譲渡、中国カンパ
管理費合計	7,000,000	7,444,531	444,531	
予備費	400,000		-400,000	
当期支出合計	10,500,000	9,698,404	-801,596	
当期収支差額	1,500,000	301,530	-1,198,470	

経常収支差額	301,530	A
Ⅲその他資金収入の部		
1.固定資産売却収入計	0	
2.敷金・保証金戻り収入計	300,000	
3.借入金収入計	370,000	理事より借入
4.特定預金取崩収入計	0	
5.繰入金収入計	0	
6.その他収入		
過年度収支調整収入	0	
その他資金収入の部合計	670,000	
Ⅳその他資金支出の部		
1.固定資産取得支出計	0	
2.敷金・保証金支出計	0	
短期借入金返済支出	0	
長期借入金返済支出	355,000	とらい債・コモンズ債返済(一部は寄付扱い)
3.借入金返済支出計	355,000	
4.特定預金支出計	0	
5.繰入金支出計	0	
6.予備費計	0	
その他資金支出の部合計	355,000	
その他収支差額	315,000	B
当期収支差額	616,530	C=A+B
前期繰越収支差額	-755,860	D
次期繰越収支差額	-139,330	E=C+D
(正味財産増減の部)		
Ⅴ正味財産増加の部		
1.資産増加額		
当期収支差額	616,530	C
期末商品棚卸高	612,690	
1.資産増加額合計	1,229,220	
2.負債減少額		
短期借入金返済額		
長期借入金返済額	355,000	
2.負債減少額合計	355,000	
正味財産増加額計	1,584,220	
Ⅵ正味財産減少の部		
1.資産減少額		
雑損失額	15,299	
建物減価償却額	1,368,418	とらいとの分離により固定資産を除去
什器備品減価償却額	20,566	什器備品は定率法による
車両運搬具減価償却額	300,315	寄贈により固定資産を除去
敷金減少額	300,000	
期首商品棚卸高	500,906	
1.資産減少額合計	2,505,504	
2.負債増加額		
短期借入金増加額	370,000	
2.負債増加額合計	370,000	
正味財産減少額合計	2,875,504	
当期正味財産増減額	-1,291,284	F 貸借対照表の当期正味財産増減額と一致
前期繰越正味財産額	-5,380,732	
期末正味財産合計額	-6,672,016	G

収支計算書に関する注記

本法人の資金の範囲は下記にあるように商品を除く流動資産および、短期借入金を除く流動資産としています。

次期繰越収支差額の内訳

現金	5,354
普通預金	230,732
普通預金(とらい債用)	
郵便振替口座	121,602
未収金	122,812
①商品を除く流動資産資産	480,500
未払金	304,290
前受金	46,000
預り金	36,230
未払費用	233,310
②短期借入を除く負債合計	619,830
①－②	-139,330